



鳥獣被害の抑制・防止

中間農業地域

おばらかんきょうほぜんかつどうそしき ふくおかけんちくじょうぐんちくじょうまち
小原環境保全活動組織 (福岡県築上郡築上町)

- 本地区は、築上町を流れる、2級河川である城井川の最上流部に位置し、豊かな自然環境の中、歴史的史跡及び伝統文化を育んできた中山間農業地域である。
- イノシシ、鹿の生息地でもあり、鳥獣害防護柵が全延長5.0km設置されていたが、老朽化等により、一部は倒壊しており、イノシシ等の進入による被害が増大している。
- 本制度により、地域ぐるみで鳥獣害防護柵の保安全管理を実施することで、被害が大幅に減少。遊休農地の発生抑制や、担い手への農地利用集積にも繋がっている。

【R3地区概要】

- ・取組面積 田45.21ha
- ・資源量 水路14.9km
農道8.2km
ため池2箇所
- ・主な構成員
農業者・非農業者・自治会
老人会
- ・交付金 約2百万円
農地維持支払
資源向上支払(共同)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は山林及び平野部からなる水田地帯であり、水稻を中心とする農業地域である。
- イノシシやシカの生息地であり、鳥獣害防護柵が設置されているが、一部はイノシシ等が地面を掘って進入し、作物に被害を与えている。
- 近年は鳥獣害被害が増大し、防護柵を破損させる等、維持管理費が増大した。



鳥獣害の捕獲



防護柵下から進入

取組内容

- 鳥獣害防護柵(全長5.0km)により、45haの農地を保全している。
- 鳥獣害防護柵の点検・機能診断を役員により実施している。
- 見回りによる新たな破損箇所は、発見者が速やかに活動組織に報告する体制を整え、修復等を迅速に対応している。



地域住民による
柵の点検



地域住民による
柵の補修

取組の効果

- 鳥獣害防護柵の適切な保安全管理により、イノシシ、鹿などの食害が減少し、それによって遊休農地化が抑制されるとともに、農地集団化が増加した。
- 現在は、田畑に柵を仕掛けるだけでなく、けもの道を作らせない等の対策をして身を隠すことができない環境作りをすることにより、イノシシ、鹿等が活動できないようになってきている。

被害面積 平成20年度 20ha→令和2年度 2ha



地域住民による柵の保安全管理状況